



3月9日に、参議院経済産業委員会で、国際標準化戦略(ルールづくり)について質問をしました！

グローバル市場で戦っていくためには良いモノを創っているだけでは不十分であり、国際標準を獲得しなければならない。これから第4次産業革命を推進していくためには、なおさらであるという問題意識から質しました。

### 3/9 参議院経済産業委員会 (大臣所信に対する質疑)

### Questions at committee

## モノづくりとルールづくりはクルマの両輪

### 第4次産業革命とは？

- 第1次産業革命 ↓ 蒸気機関
- 第2次産業革命 ↓ 電力・モーター
- 第3次産業革命 ↓ コンピュータ

### 第4次産業革命

人工知能 (AI)、IoT、ビッグデータ、ロボット技術

### <背景・前提の確認>



まず、お礼を申しあげたい。標準化について深掘りした質問をやっていただくことはありがたい。

※以下の点について確認。

- 国際標準化のプロセスには、  
デジュール標準 = 明文化ルール(国際会議等で決定)
  - フォーラム標準 = 企業間等の合意
  - デファクト標準 = 企業の市場競争の中で、事実上の標準となった規格
- の3種類がある。



欧州は、EU内で28カ国が事前にまとまり、国際会議で多数票を持つ状況を作り、規格決定作業を優位に進めている(デジュール標準)。

米国は、民間団体や学会が主導し、フォーラム標準やデファクト標準を進めている。

アジアは、国間の結びつきが比較的弱く、標準化を主導する状態にない。

中国は、国際標準化機関の主要ポストを次々と獲得してきている。

日本は上記の間で、あまり上手く立ち回れていない。

かつて、アジアで普及していた日本の洗濯機が、英国規格を通さなかったことで、輸出減となった失敗例あり。海外との連携が不十分で、専門家も少なかったことが原因と分析。また、日本が強みを持っている鉄鋼、工作機械、ロボットなどの分野では国際会議の主要ポストを担っている。

### <主張・提案と答弁>

礒崎議員は以下の点について主張し、世耕大臣から次の答弁があった。

礒崎議員	世耕経済産業大臣
国際機関でのポストをとることが重要だということだが、課題認識と具体的なアクションは？	ポストをとることは重要。946あるポストの内、現在の95から2020年までに100ポストまで増やしたい。併せて仲間づくりが重要で、特にASEANやアフリカを票田としていきたい。 <small>注)日本のポスト数は5位(2010年)から3位(2016年)に上昇。1位はドイツ、2位はアメリカ。</small>
ポスト獲得や仲間づくりに長けた人材が必要。	政府としては、若手人材の育成支援、経営層の理解促進のための広報、表彰制度の拡充などをしていく。企業の人事評価制度も大切。
標準化の重要性についての官民の認識は？	感覚的には不十分。第4次産業革命に向けて標準化に乗り遅れないように働きかけていく。こうして国会で議論することも重要。
国際標準化推進のための予算は、平成29年度予算案で42.8億円となっているが、大臣の答弁を聴いても人材育成に向けた予算の確保が重要と認識。合わせて、約60名と聞いている経済産業省の体制も拡充すべきではないか？	(時間切れで答弁をもらえなかった。)
トップ会談による政府の後押しも重要。	例えば、日独でスマートマニュファクチュアリングの標準化連携を進めていこうとしているところ。



国際標準化の議論でも、やはり人材育成が喫緊の課題であり、民進党の「人への投資」はこうした分野でも重要だと言えます。そのためにも、政府の体制を大幅に強化したり予算を倍増したりするぐらいの対策が必要だと思います。将来、第4次産業革命によってもたらされる数十兆円、数百兆円といった巨大市場を獲得するためには、大胆な投資が必要です。ルールづくりを主導するため、アジアやアフリカ諸国の仲間づくりをしていく一方で、国際標準化連携のために、欧州はもとよりトランプ米大統領や習近平国家主席とのトップ会談も考えるべきです。

